

## 平成 19 年度(第 3 回)成果発表会アンケート集計結果

実施日:平成 19 年 6 月 28 日(木)

発表内容:【金属資源レビュー】

鉛需給動向: 神谷 夏実

最近の持続可能な開発を巡る世界の動向: 植松 和彦

【金属資源探査推進グループ成果報告】

平成 18 年度精密地質構造調査北薩・山田地域の結果について: 吉川 竜太

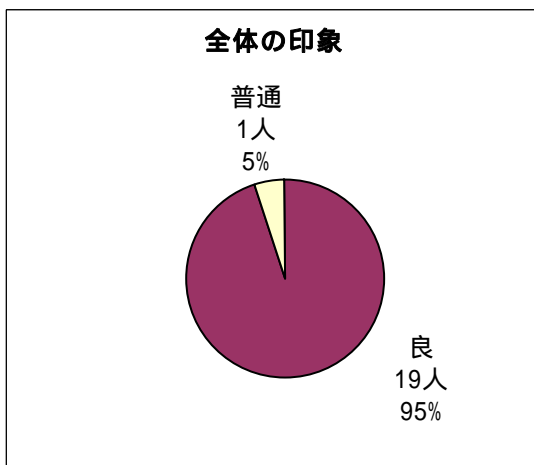
平成 18 年度リモートセンシングによる探査技術開発成果報告

-「だいち」データ利用技術開発- : 川上 裕

外部の参加者数: 31 名

アンケート回答数: 23 件

### 発表会に対するご意見

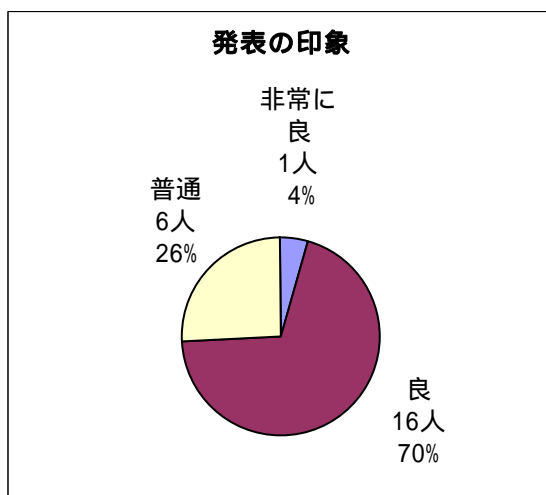


#### 発表会に対するご意見

- ・ 少し休み時間を入れて頂けたらなお良かったです。

### 【金属資源レビュー】

鉛需給動向



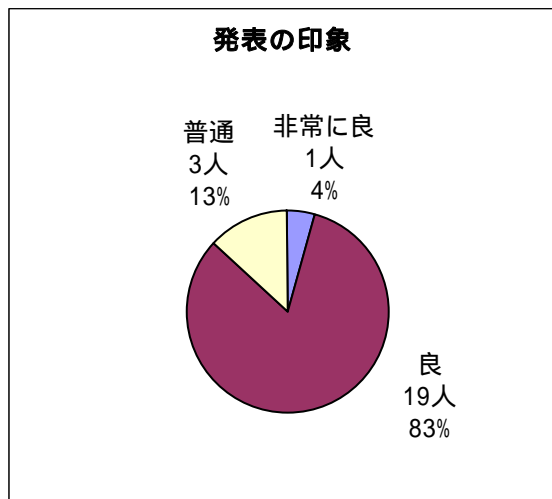
#### 1. 良かった点

- ・ 資料が充実している。
- ・ 端的。資料に準拠。
- ・ 中国後はどうなるのか。
- ・ 中国の動向がよくわかり興味深い。
- ・ 動向がわかりやすかった。
- ・ 中国の動向が興味深い。
- ・ 金属資源に関する動きが具体的に理解できた。
- ・ 今後価格の高騰理由を知れた。

#### 2. 悪かった点

- ・ できるだけ数字の表記がほしい。
- ・ 資料の「出展」は「出典」の間違いではないでしょうか。

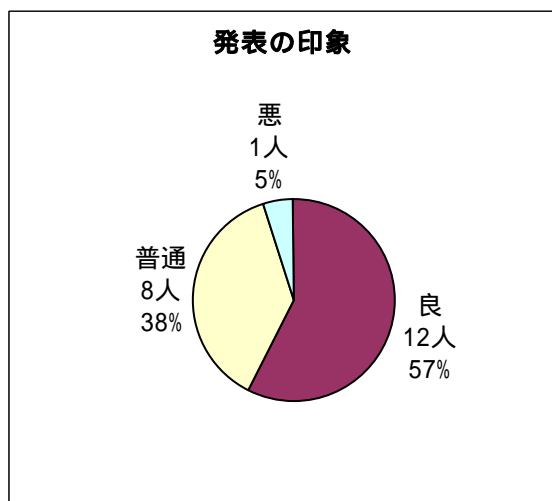
最近の持続可能な開発を巡る世界の動向



- 良かった点
  - ・ 手に入りにくい情報供給。
  - ・ ASEAN の意向が良くわかった。
  - ・ ミャンマーの首都の写真。
  - ・ 最後にミャンマー新首都の説明があり興味深かった。
  - ・ 資源開発に関する方向性、取り組みが耳新しかった。
  - ・ 国際機関、企業などの動きと対応理解の一助となった。
- 悪かった点
  - ・ ノイズのある話癖。

**【金属資源探査推進グループ成果報告】**

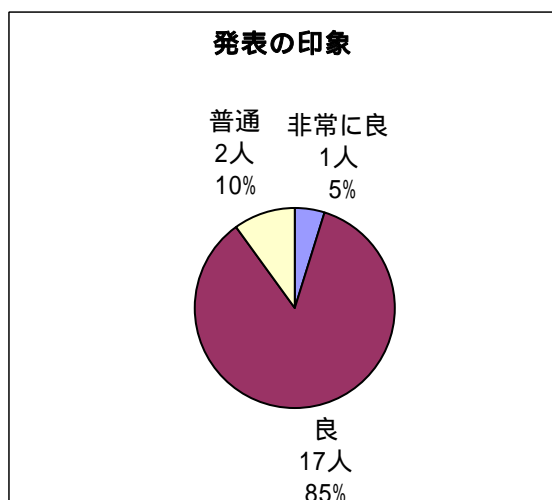
平成 18 年度精密地質構造調査北薩・山田地域の結果について



- 良かった点
- 悪かった点
  - ・ 金鉱床発見への成果が多かったとはいえない点。
  - ・ DDH 以外のデータの断面図があればもう少しよく理解できた。(例:菱刈本山と北西部全体)
  - ・ ボーリングの目的 結果 解釈への道筋がはっきりしなかった。
  - ・ 簡単な用語説明(スリッケンサイド等)をしてもらえるとわかりやすい。
  - ・ 比抵抗値の解釈は難しいと思われるが、スリッケンサイドに原因を求めるのは無理ではないか？結局、低比抵抗の盛り上りの原因は何だったのか？解釈に納得できない点が多い。

平成 18 年度リモートセンシングによる探査技術開発成果報告

- 「だいち」データ利用技術開発 -



- 良かった点
  - ・ 最新機器の理解。
  - ・ 新たな技術開発動向について知ることができた。
  - ・ 偏波データは植物の影響を強く受けていることが理解できた。
  - ・ 植生地域の探査の成果。
- 悪かった点
  - ・ 声量が十分でない。やや早口。
  - ・ 熱帯雨林地域でも実施してほしい。
  - ・ DEM 等からの PCA false 画像、解釈が強引な感じがする。
  - ・ 地質区分(岩相区分)が、しいのであるような気がする。
  - ・ 「だいち」データ利用と鉱床探査との関連が不明。(鉱床探査に使えるのか？)、2. で ENVISAT データを含める必要があるか。単に情報量が少ないからといって加える必要はなく、データの質が重要。
  - ・ 反射波、地形データ 岩相につながるか？反射パターン区分図と波長チェックの組合せではないか。

JOGMECの情報収集事業につきまして、ご意見、ご要望がありましたらお書きください。

技術の基礎事項の参照情報が発表者の資料に明示されているとよい。不足によって説明が難しく感じられたので。

その他、JOGMEC に対して、ご意見、ご要望がありましたらお書きください。

バイオリーンズの成果発表会を東京でやってほしい。素人にもわかるレベルでお願いしたい。

以上